

発行所(郵便番号100)
東京都千代田区丸の内2-4-1
丸ノ内ビルディング781号室
社団法人スウェーデン社会研究所
Tel (212) 4007-1447

編集責任者 高須裕三
印刷所 関東図書株式会社
定価50円(年間講読料500円)
1971年6月1日発行
第3巻 第6号
(毎月1回1日発行)
昭和44年12月23日第3種郵便物認可

スウェーデン社会研究月報

Bulletin Vol. 3 No. 6

Japanska Institutet För Svensk Samhällsforskning
(The Japanese Institute for Social Studies on Sweden)
Marunouchi-Bldg., No. 781, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan

高島屋でスウェーデン国王所蔵中国古美術展

開会式にクリスティーナ王女ごが出席

Her Royal Highness, Princess Christina, attended at the Takashimaya department store the opening ceremony of an exhibition displaying the collection of Old Chinese Art belonging to His Majesty King Gustav Adolf of Sweden.



開会式で秩父宮妃殿下といっしょにテープに鉋を入れるクリスティーナ王女



松前会長からプレゼントの人形をお受けになる王女。右から西村所長、大平理事長、クリスティーナ王女、松前会長、ヘクシャー大使夫妻、随員の女官

スウェーデンのクリスティーナ王女が、1968年秋に次いで再度来日された。5月11日から日本橋・高島屋で開催された、日本瑞典協会、朝日新聞社共催による「スウェーデン国王所蔵中国古美術展」の開会式にご出席のためで、京都・伊勢などもご訪問になった。

9日午前10時、SASの飛行機で羽田にお着きになり、お出迎えの秩父宮妃殿下とご挨拶を交わされて宿舎のホテルへ向かわれた。

翌10日、スウェーデン社会研究所では同王女を震ケ関ビル33階東海校友会館にお招きして、歓迎のティーパーティーを開催した。会員多数のほか、各界著名人など100余人が参加。西村光夫所長の紹介で大平正芳理事長、ヘクシャー駐日スウェーデン大使がご挨拶し、松前重義会長が研究所を代表してケースに入った日本人形をプレゼントした。王女はにこやかに両手がかかえるようになってお受けになった。王女はおよそ一時間にわたって、わけへだてなく会場の人々とご歓談になり、インタビューに応じ、みんなと並んで写真もお撮りになった。

11日午前9時45分、高島屋で「国王所蔵中国古美術展」の開会式が行なわれ、王女は秩父宮妃殿下と並んでテープに鉋をお入れになった。ストックホルム東洋美術博物館長 Bo Gyllnsvard 博士のご案内で、国王が自ら選ばれたという王朝時代の青銅、銀、翡翠などで作られた中国古美術品100点の飾られている会場を、秩父宮妃といっしょに熱心に観て廻られた。クリスティーナ王女は父君を飛行機事故で失なっておられ、グスタフ・アドルフ現国王のお孫さんにあたる。

新聞社のインタビューに答えて、スウェーデンの誇りとして、①自然を愛する国民であること、②人々の間の格差が少なく、平等が実現されていることをお挙げになり、そのほか記者の質問に応じて、近代の欧州の中で150年間平和を保ちえたこと、性の問題を自由に話しあえること、などをお国の特徴の一面として話題となさった。また、国境や皮膚の色を越えて「人はみな同じ」と

(3ページにつづく)

「公害」原論 (2)

—その「条件」，とくに近代の科学・技術の性格—

Fundamental Principles of Environmental Pollution

—especially, the Condition ; the character of modern Science and Technology—

理事 高須裕三

Director : Prof. Yuzo Takasu

1. 公害の「条件」

前号において、ヘーゲルの論理学体系に依拠して、公害発生の原因を「根拠」と「条件」とに分ち、「根拠」としては近代の工業化・都市化・密集化という経済社会的体質の成熟を挙げた。そして「公害」現象こん今日においてその顕在化を濃厚にしつつあるとしても、それは「現代」的性格によって追いつめられつつある「近代」的部分の自己保存の抵抗的末期現象であると観た。そこで本稿では上記の「根拠」に結合して、「公害」の潜在的可能性を顕在的現実性に転化させるものとしての諸「条件」について考察すべき段取りである。しかし、その諸条件の考察には、膨大な紙幅を要するので、本稿においては、スウェーデンの特徴との関連を配慮して、その有力な条件の一つである「近代科学・技術」の性格について、「自然」との関連において考えてみようと思う。

2. 「人間」と「自然」との関係——「古代」・「中世」

人間の生活史が「自然」に働きかけて、そこから食料・衣料・燃料その他の生活資料を獲得する歴史であったことは、いつの時代にも不変の基本線であった。それら資料の獲得量の増大、未知の有用物質の発見・創造、人間労働の省力化と質的高度化のために「技術」が生まれ、それら諸技術の合理的体系的認識のために「科学」が生まれた。その科学は、自然科学・人文科学・社会科学などに分かれるが、ひとくちに「科学・技術」というとき、その「科学」がしばしば「自然科学」に限定される傾向が強いことは、科学そのものが、上記のような「自然」に働きかけての生活資料獲得という人間生活の基礎に根差しての「技術・科学」発生史の歴史に由因するからである。したがって、歴史のそれぞれの時代を通じて、その「科学・技術」のあり方は、それと「自然」との関連の仕方いかんによっていたのである。

ヨーロッパの「古代」を代表するギリシャの世界では、そこが気候温暖・地味豊穡であったので、定住・農耕の古代文化が燎乱と開花した。この地域の自然の恵みの豊さを「根拠」とし、当時の農器具の簡素・未発達を「条件」として、本格的農業展開以前の当時の農耕（家庭菜園のような状態）は、その生産の主要素が労働（奴隷の）であったとはいえ、奴隷は「人間」ではなかったため、人間は生産者の悲喜の圏外にあり、人間は「自然」に働きかけるものとしての性質が稀薄で、人間と自然との関係は、いわば「主客未分」の状態であり、人間は何らの違和感もなく大自然の一部であったのである。

「古代」社会から「中世」が生まれ出る根拠を成熟させたものは、製鉄技術の発達であった。それが牛に牽かせ

る大型の鋤（すき）のような本格的農器具を出現させたことが、荒蕪地の開墾を可能にさせるにいたった。また他方、鉄製の車輪の外わくの出現が本格的な車輻を作り出し、それが遠隔地の耕作を可能にするにいたった。かくて農器具と車輪と両々相まって、遠い荒地も耕作の対象となって本格的な農業生産の根拠が成熟するにいたったのである。

かくて生産の担い手は、古代の奴隸から中世の農奴ないしは小作人へと変化し、また中間階級としての自作農が有力な担い手として出現するにいたった。それらは、とにもかくにも「人間」として「自然環境」に働きかける。哲学的に言って「自然」と「対立」する形となったのである。

ところで農業は、戸外での生産であるので、豪雨・干魃・害虫・暴風などの自然の猛威をまともに受ける。一年間の努力の結晶も、二百十日の嵐によって、惨として声もない。人は自然の威力と人間の微力とを思い知らされる。かくて中世農業生産の社会にあっては、人は自然の猛威をおそれ、自然が和むようにひたすら神に祈る。そこで本格的な宗教が中世の空をおおい、教会の教えが地上を支配する。かくて中世においては、自然は巨大であり、人間は微小であり、とても人間はまともに自然に取組めるような状態ではなかった。そのうえ、中世宗教のあり方が、技術や科学の展開を思想的・制度的に妨げる仕組みになっていたのであった。

3. 「人間」と「自然」——「近代」——

このような情況に対し、画期的な旋回を与えたものは、近代の工業であった。工業が農業と比べて正反対な性質をもつのは、農業が戸外生産であるのに比べ、工業は戸内生産であることである。壁と屋根とで自然環境から遮断された工場内では、外の自然の豪雨も干魃も暴風も、直接にはほとんど関係ない。この自然の猛威から保護された生産の場で工業が行なわれたことは、人が計画した通りに生産物が出来ることとなった。ここにおいてはじめて人は生産の場の主人となり、自信をもつにいたった。「近代」における個の自覚も、独立自尊の心も、自由・平等への志向も、それらが社会的に有力なものとなったのは、主としてこの工業生産の展開という根拠に立ってのことであった。

古代の学問を代表するものは哲学であり、中世のそれは神学であるのに対して、近代のそれは科学である。哲学・神学と科学とは、種々の面において対照的であるが、その顕著な差異の一面は、哲学が「真・善・美」の理念界を重点的に扱い、神学が彼岸の「聖」の世界に傾倒す

るのに対し、科学はあくまで偽・悪・醜に満ちたこの「地上界」の分析的解明を任務としていることである。

近代医学の開幕は、屍体の解剖によって始まった。中世においては、神の作り給いし人体の秘密、さらには生命の神秘の奥所に、人間がメスを加えようとするごときは、長く教会的慣習法の禁ずる所であった。しかるに天の機、地の勢に抗すべくもなく、教会側が医師による解剖に譲歩を示したことは、人間の知恵が地上界に咲き乱れる第一歩となった（ヴェサリウスによる科学的解剖書の発表は1543年。同年、地動説も公表）。解剖は、客観的認識のためには醜の露呈も意に介しないこと。五臓六腑の「腑分け」の言葉に象徴されるように、それは科学の方法たる「分析」の最も具体的な試行であることにおいて、それはまさに近代科学の先頭をゆくものであった。

同様の傾向は社会科学にも現れた。政治学祖マキャヴェルリの著「君主論」（1513年完成—1532年刊行）は、地上の政治の世界における権謀術数、ごまかし、支配欲など手段を選ばぬ醜悪さを解剖・露呈して見せ、古代・中世の政治書に主力として見られた理想主義的・規範的要素を全く排除して、これこそ客観的・科学的であると自負したのであった。

近代科学の、こういう他の諸要素（たとえば道德など）との相互媒介の関連性を無視した自己完結性、閉鎖性は、一応、分業的に限られた分野での精密な分析と客観的な理論構成に顕著な成績をあげてきた。たとえば経済学が近代に入ってイギリス古典派の手によってその礎石を据えられたとき、それは重大な仮設を前提にして、現実を現実ならぬものに歪めて、自己の理論構築に便利のように細工を施したものであった。すなわち人は経済的利益だけで行動するものではなく、道徳的配慮によっても経済行動は制約されるはずであるのに、イギリス古典派の定めた前提は、人は自己の経済的打算に従って行動する「経済人」という一般性への画一化であった。かくて近代社会科学は、重大な無理をしてその客観性を装ってきたのである。このことは自然科学についても、程度の差こそあれ、同様といえる。水を H_2O で表しても、そのような水一般なるものは、実験室の試験管の中に出来上るだけのことであり、世の中に存在する水は、地中の鉱物質を含んでいたり、降雨によって空中のゴミを溶け込ませていたりするそれぞれ個性的差のある水なのである。

このようにして、近代科学の特質は、本来の真実が対立する二側面（たとえば経済面と道德面、あるいは一般性と個別性のごとき）の相互媒介の弁証法的世界にあるにもかかわらず、その一面を固執推進するという偏向性につきまといわれたところにあった。

ところで道德面は「質」の世界に、経済面は「量」の世界に結びつきやすい。また個別性は質の世界に、一般性は量の世界に、それぞれ結びつき易い。量・質相互媒介によって成立している真実のうち、近代科学は量の一面に傾きやすく、したがってそれは数学・物理学や天文学の領域で最も顕著な進歩を示す道理であった。原子物理学や宇宙工学の成果は、その代表的なものであった。

そういう近代科学の性格に呼応した近代技術にいたっ

ては、それが近代経済生産に一層直接的であるので、また科学に比べて価値判断の主体性に一層乏しいので、質を忘れて量に走る傾向はさらに強化される。

かくて近代科学と近代技術との相乗積としての近代社会の諸条件が、経済成長第一に走って福祉を二のつぎにしたのも当然の次第であった。

ちなみに解剖によって近代科学の先端を切った医学は、その近代的性格のゆえに近代社会において違和的諸現象を起していることも少なくない。たとえば昨年論難の焦点となったものに「心臓取換え手術」事件があった。他人の心臓を部品のように取換えるという考え方に「一般性」への偏執があり、少しでも長い時間心臓を動かさなければ善になるという考え方には「質」を軽視した「量」への偏向があった。そういう意味で、この事件は「公害」そのものではないであろうが、公害ときわめて親近関係にある現象であった。

近代のはじめに、工場生産によって人間が自然の猛威から離脱し、自信をもちはじめ、主体性を発揮するに至ったまではよかったが、やがて上記のような「近代科学・技術」の鋭くはあるが偏執した性格に推進されて、人間は自然を略取し、自然を攻撃し、自然の生態を破壊するにいたった。すなわち、近代の工業化・都市化・密集化という公害の根柢に、近代の科学・技術を先頭とする諸条件が掛け合わされて、公害が具体化されるにいたったのである。

4. 「自然」と融和する科学・技術

近代の科学・技術が、その一般的性格として、自然への攻略性を顕著にしつつあるときにおいてさえ、スウェーデンにおける科学・技術は、自然への融和の線が他国に比べて、最も濃厚であったといえよう。それは結局、科学・技術を扱うその人間性、国民性、風土性のしからしめるところであったといえようか。

たとえば近代技術の成功者ノーベルを例にとっても、彼はその技術的成功・経済的巨富の獲得にもかかわらず、その人間においてはつねに心の晴れぬ苦悩の人であった。それは彼の発明によるダイナマイトの自然破壊力に対する不断の良心的苛責であり、自然神への畏怖であったであろう。そういう「増長慢」に陥らない節度は、スウェーデンの国民性でもあると思われ、それがこの国をして最も公害の条件の少ない国たらしめてきた精神的要因の主なものであったと思われるが、それについてはまた次の機会に譲りたい。（未完）

【1 ページよりつづき】

いう強い信念をお持ちであり、スウェーデンの「心」を代表されているお方のように思われた。

現在、スウェーデン外務省に広報担当官として職業をお持ちであり、いかにも現代的な明るい王女さまである。国民の間にも広く人気があり、雑誌や週刊誌に毎回のように入場されている。14日夜、多忙な日程を終えて羽田をお発ちになった。

知られざるスウェーデン

An Unknown Sweden

ニルス・ウーベ・ペテション

Nils-Owe Pettersson



初めに僕はこの機会を与えて下さった朝日新聞社に対し深く感謝いたします。

この講演で僕が考えるすばらしい、そしてまた珍しいスウェーデンのことについて語るつもりです。説明をわかりやすくするために、僕はまず歴史や地理的なバック・グラウンドについてのべましょう。僕がスウェーデンで会った外国人のスウェーデンについての印象で、一番分からなかった点もピック・アップして、ちょっと扱いたいと思います。

けれども、一番先に批評をしたいのです。スウェーデンに行って六日あるいは六年間居た日本人が、残念ながら日本に帰って、「これがスウェーデンだ」というような記事や本などを書きます。全部がもちろん悪いとはいえないが、その中に二種類の愚かな、表面的な記事があります。一つはスウェーデンの「フリー・セックス」についての記事です。スウェーデンでは確かにたくさんの女の子は結婚の前に性的な経験があります。又、非常に具体的なエロ本などが自由に見せられたり、売られたりします。又、男と同じように女も性的な不満も、満足も感じることができるし、人間として、それは彼女たちの権利だという考え方は一般に採用されています。けれども、僕はこういう日本の男の仕方を見たことがあるので、判断がきびしくなりますが、こういう人はスウェーデンに行って恥ずかしくて、まん丸な目で見て、そして成功のチャンスが転がっていないので、不成功で帰って、態度はがらりと変わります。「お前は俺の経験を分らんだろう。俺は一度も一人で寝たことがなかった！」という言い方になります。それにまた、こういう記事はよく売れます。

けれども、どうしてこのへぼ文士がそれほど読者を愚弄できるかということが僕には分かりません。読んでいる人は、これは本当かどうか、そうであれば、どうしてそうなのかと問うようなコントロールが全然できません。

もう一つの批評は、スウェーデンはもちろん色々なよい点を持っているが、ああいう社会主義やフリーセックスは人間を自殺させるということを言いたい人も居ます。記事の表面は客観的に見えるが、福祉社会や女の自由は本当に人間に対して嚇かしだということが隠されている意見だと思います。では、これから僕の話です。

スウェーデンははるか北にあり、大体カムチャッカと同じ緯度で、面積は日本の倍より大きいです。北の方に無限の針葉樹の森、中部にははげれした牧場や湖、南に

明るい落葉の林があります。これがスウェーデンです。氷点下5度、ひゅうひゅうと吹く吹雪、午後の三時から暗くて、激しく打っている雪に逆らって、くるまりながら骨折って進む人間、氷の張り詰めた湖やメートルの雪。

あるいはきらきら輝く太陽、氷点下25度、何とか静かな森にきらめいている雪。空気は息するのが痛いほど奇麗です。

又、六月の夜、太陽が上るとき二時ぐらい、木も花も色を失って、全部はミルクのような色で溶け込んで、霧が立ち登り、誰も寝ることが出来ません。それは僕の大好きな時で、人間を落ち着かなくさせ、生活に妙味を添える時です。愛の時、人生の経過についての考えの時です。

そして、これもスウェーデンです。汗や貧乏の国、猫背や灰色の田舎屋の国、昔の反響が未だ聞こえる国です。農夫たちの重い足音、教会の説教団からの雷のような非難、労働扇動者の熱弁、ストライキをして、射たれた労働者のうなり声……

そしてこれもスウェーデンでしょうか。奥さんの使い捨てる車、社会主義、働く必要がない労働者、世界で一番美しい女の子、男女の乱交や退屈で自殺する人。

これはスウェーデンです、あるいは

スウェーデンの福祉国家については多く書かれていますし、なかには沢山のナンセンスもまじっていますが、米国の次に、スウェーデン人は世界で一番高い実質賃金を持っているし、誰も本当に貧乏になることが許されないということは本当ですけれども、三十年の前から我々は社会主義の政府を持ち、あの社会民主党の社会政策案の大体は残りの政党に承認されて、当然なことになってしまいました。スウェーデンの社会奉仕、老人保護、教育組織、児童福祉、身体障害者の保護などが進んでいてよく知られていますが、この明白な利益がスウェーデン人に対する影響を解釈する話になると、意見が分かれます。例えば、外国の選挙戦争に、スウェーデンはいい例としても、恐ろしい警戒としても使われます。有名な演説で、スウェーデンの不動徳や高い自殺率ということを指摘して、スウェーデンをいわゆる有名にしたのはアイゼンハワー大統領でした。大統領でさえああいう偏見を宣伝したことを我々は今も許すわけにはいきません。

また、高い賃金、三、四週間の休み、無料の教育と、治療と、かなりいい恩給などのような利益で、スウェーデンは怠け者の楽園だという外国人の考え方があります。

そして勿論、自分を国家に養わせる人がいるが、よく考えると、このような人は、異なる社会でどうなのでしょう？　ところで、ある期間スウェーデンで生活する人は、スウェーデン人がむしろ驚く程に働くということに気が付くでしょう。多くの人は二つの仕事をもって、奥さんも働くとか、ひまに勉強します。僕の持論は、人間は生計をたてるために働く必要がないと、他の必要が自動的に出るということです。例えば、社会的に承認されること、要するに、課長であることは溶接工であることより立派なことであるという考え方です。それが出来なかったら、自分の給料が高いという事を表わす為に、駐車が出来ない程大きな車を買います。

しかし、これは皆様のよく御存知のことでしょう。

やはり、この福祉案は一般に承認されて、権利あるいは義務として考えられると思います。我々は八百万人だけだから、一人で金持であるのはいけないことです。

八百万人、東京より少ないですね。昔の農業国は隆盛な工業国家になりました。ただ、餓死しない様にアメリカに移民した時をよく思い出すが、まだこの社会に生きています。その大変動の理由は何でしょうか？

それは、まず骨の折れる仕事でしょう。スウェーデン人は教会にあまり出席しなくても、プロテスタントです。ですから、あの倫理はまだ生きていて、仕事の誇りを扇動します。天は自ら助ける者を助くと云われますね。外人の見学者はよくこの状態を見落とすが、ほんの一度をはげば、この厳しい理性的なルーテルの道徳が表われます。

それから、我々は平和がありました。乱暴なパイキングの時代から、我々がフィンランドを失った1908年まで、スウェーデン人は何回も戦っていました。未だ我々の税金の大きな部分を食ってしまう軍隊があるが、160年間以上平和がありました。世界記録でしょうか。

特別な経済の縮形態はほかの理由だと思います。一般に容認されている説とは反対に、スウェーデンは社会主義国家にもかかわらず、産業の殆んど90パーセントは民間企業です。日本と同じように、経済学者を使って、政府と産業は親しく協同します。なお、労働市場は静かで、徹底的に組織されています。日本の労働者も、スウェーデンの労働者も国際的に研究されているが、態度や組織においてはやはり互いに反対です。そして、最後にたくさんのノウ・ハウを持った、進んで合理化された産業も理由だと思います。国際的な競争に堪えるために、それが重要です。

もちろんほかの説明も考えられますが、以上は僕の考えです。

そして、今この重要な質問に帰って考えてみましょう。こういう環境に住んで、こういう歴史を持っている人間は、どういう風になるのでしょうか。ある点で、スウェーデン人は例えば英国人やドイツと違っているのでしょうか。

僕の意見によれば、スウェーデン人は色々な面で本当に違います。ただ、スウェーデンに来る外国人の大部分は、スウェーデン人を福祉社会の成果としてみます。そ

れは間違った見方だと思います。両方とも国とそこに住んでいる人は別々に歴史上の見地から見るべきだと思います。

ある人目に付く舞台を見ましょう木曜日の夜、十時から、ストックホルムの中心——サイエンスフィクションのような感じのするガラスやコンクリートのセンター、豪華な店、ネオン、そして人は間ばらです。さびしい。中心に散歩すると——どこでもきれいで、よく計画されています。我々は二人の恋人か、一人二人の見はなされた外国人にだけしかいません。一体、人はどこにいますのでしょうか。あるいは、スウェーデン人の家のパーティに招待されたら、みんなはかなり親切に、礼儀正しくし、英語で日本人について色々な事を聞きます。しかし、日本人は、かたまって座って、なんと小さな声で話しあっていることかと気が付きます。そして、スウェーデン人の家は普通に立派に作ってあるので、主人はお客さんをつれて家を案内して、全部を見せます。洋服ダンスも。それから、カクテルやビールがでると、人は体を楽にして、夜が経てば経つほど雰囲気ももっと上がります。ある場所に一例えば地下鉄の駅には、どうしてそれ程沢山の若者が集まっているかという事に外国人は驚きます。ぶらぶらしながら、タバコをすって、話していたり、彼らはもう寝るはずである程度若く見えます。多分これは恐怖的に見るとか、親はどうして子供の面倒をみないかと外国人は考えるでしょう。あるいは、ふと、みすぼらしい身なりの酔っぱらった男に会って、これはどういうふうにかこの福祉社会にあうかしらんと考えるでしょう。地下鉄に乗ると、輝いて芸術的に飾られている駅を誉めながら、どうして誰も話さないの？　と考えます。人々は呼んだり、窓から見たりする。ただ誰も話しません。どうしてでしょう。

こういう事は外国人のよくする質問ですが、答えがあまり出ないのです。ですから僕はある考えられる様相を見せたいのです。

昔のスウェーデン人は奥深い森に囲まれて、孤立して住みました。よその人はめったに来なく、慎重に迎えられるました。

ところで、ある新聞記者は遙か海にある小さな島に住んでいた燈台守を訪ねたという話があります。この燈台守は、ヒューヒューと吹く嵐や怒号する波に囲まれて一人で住んでいました。だから時々びくびくしないのですか？　と新聞記者は聞きました。びくびく？　なぜ？

ここには人っ子一人居ないよ！　と答えました。これは勿論昔の話だが、今日までこのはずかしがりやの態度はある面に残っていると思います。そして昔の人の生活は厳しく、重苦しくて、望みがもてなかったのも、お酒は苛酷な日常から逃げる為に助けになりました。そして人は確かに大酒を飲んで、限りのない程飲みました。それで、新興復興運動が来て、労働者運動が始まった時に、飲酒の害を説いて、誘惑に落ちた人に地獄の悲惨事を描写しました。お酒を飲む事は本当に罪になってしまいました。ですから、現在も、お酒を飲む人が恥ずかしがっ

たり、内々にしたりする理由がわかるでしょう。しかし、若者や外国人は今どきお酒を新しい方法で扱うことを伝えている所です。我々がセックスについて持っていない偽善はかえってアルコールに集中します。確かに珍らしい事です。

さて、全ての国々は自分の理想や道徳律があるでしょう。このプロテスタントの倫理の他に、我々にはバイキングの遺産が課されています。ある程度日本の武士道に似て、この百年の前になされたバイキングのローマン化の影響は今もスウェーデンの男の行儀を決めます。例えば、弱虫のように見せないため自分の感じを見せることは絶対いけないことです。感情を表現しないことは美徳の一つとされています。又、他人に対して、あまり深く信頼しない方がいいという態度も未だあります。

結局、スウェーデンには色々な問題があるが、別にこの福祉国家というものとは関係がないと思います。両方とも同じ歴史や心理的な条件によっています。人間関係、いわゆる相手に対して自分の心をあけるということは昔々から問題で、現在の無名な都会の生活にもっと強調されています。豊富な文学には、人間の心の孤立というのが普通の主題です。従って、イングマル・ベルイマンなどの映画は、セックス映画というより、むしろ人間が一番親しくする時でさえ、やはり一人であるということを表わしていると思います。

では、セックスの話になったので、つづけましょう。色々な外国人は、不道徳やフリーセックスというのはスウェーデンの一つの問題だといえます。そう言いながら、やはり自分の無知をよく見せます。すなわち、

水商売ということがありません。

ホステスや連れ込み宿がありません。

妾を囲うことは社会的に下げずまれています。

恋をお金で買うということは、若者に絶対下げずまされています。

けれども特別に若者は日本の若者と比べれば、もっと沢山お金、時間、自由と場所を持っています。その他に、あるいはその為に、若者はもっと早く親に対して独立します。そして女の子は親に対して独立しているばかりではなくて、男子に対しても独立しています。ですから、セックスについて、彼女は好きなように出来るし、誰れでもそれについてあんまり気にしません。そうすると、彼女は良い仕事、お金、きれいな家、旅行、素適な男の子や心の一番奥に親頼出来る相手を探がします。とにかく男と同じように。

従って、セックスは彼女の日々の一つですが、ある程度男の子より選り好みが出来ると思います。スウェーデンの女はセックスの事ばかり考えているとばかり思っている外国人は本当にかっかりするに違いありません。その裏側は、スウェーデン人にとって、愛する人に対して自分の心を見せることは大変なことです。相手を裏切るということは一般に罪として思われます。我々は、結婚が愛にだけ基づいているので、離婚は本当の悲劇で

す。ですから社会の見方はセックスについて、現実的で寛大だから僕らにとって問題ではなく有難いことです。

こういう事について、よだれを出しながら偽善に反面だけの真理を書く人のことを考えると、僕は腹が立つので、時間があれば明日の朝まで話せます。

ではセックス以外の遊びもあるでしょうか。昔からスウェーデン人はひまなときに自然を探がします。ウィークエンドにはサマーハウスへ行ったり島々や川で釣ったり、林の中に散歩したりします。スポーツの全部も昔からとても人気があります。

けれども昔から楽しみの可能性はあまりなかったし、このプロテスタントの倫理は本当に楽しみを奪い取りました。

ですから、スウェーデン人は今沢山の気晴らしの時間があり、この時間をどういう風にするかという問題に対して、昔の世代と現代の若者の意見が違っています。ところで、今東京で上映されているスウェーデン映画で、セックス映画と言われる「私は好奇心の強い女」もどれ程理解されるかわかりません。スウェーデンでセックス映画としてよりもむしろ社会批評の映画として人気になったということはやはり外国人にとって理解が出来ないと思います。

さて日本人はスウェーデンに来ると、きっと親切に迎へられますが、スウェーデン人の日本についての意見はいつも正しいという希望がもてません。日本は芸者、桜と腹切りの国であるという偏見は未だ有るでしょうが、産業発展、進んだ経済学者、公害と全学連という現代進歩もあちらこちら知られています。しかし、一般的な日本人の印象は良いと思います。背が低くて、目や髪の毛が真黒い等という特性はスウェーデン人の目には日本人がとってもエキジチックに見える。只、中国人か日本人かという区別が時々出来ません。その他にスウェーデン人は外国人に対してやはりある誇りを感じていると思います。歴史上スウェーデンは割合に沢山の発明家、学者、外交やスポーツマンに寄与したし、決して占領されなかったし、ある程度日本と同じように孤立だったので、多分ああいう国民の誇りが起りました。ですからあなた方が日本人だと言っても、スウェーデン人は恐らく自動的に別に関心を示しません。あなた方は早く受け入れられて、スウェーデン人と同じように自由をもらって、知らないうちにスウェーデン人の倫理に従って判断されると思います。あるいは、他の言い方をすれば、誰も外国人のことについて別に気をつかいません。すなわち、スウェーデン人同志でも出来るだけ礼儀正しくして、正義にしながらめったに心を開けません。外国人についてもこれは別に例外ではありません。

以上が本当のスウェーデンの輪郭でしょうか。さて知られざるスウェーデンが未だ知られたスウェーデンではなかったら、ぜひ一度自分の目で見て、スウェーデンを発見して下さい。

皆さんどうも有難うございました。(原文のまま)

スウェーデン中立政策への左翼的批判への反論

A criticism of a leftist critique on the Swedish Neutral Policy.

京都産業大学講師 須藤 真志

Shinji Sudo

憲法研究所（代表田畑忍氏）なるところから出版された「永世中立の諸問題」という本に、立川文彦・川本謙一の連署からなる『スウェーデンの中立政策』という小論が所収されている。こんな短い（12頁程）論文を二人がかりで書いているということにまず奇異な感じをもつが、そのことよりも、その内容の悪意に満ちたスウェーデンの中立政策批判に対し、一般の誤解を解くためにも、反論を試みたい。

論文の内容が稚拙であることは、スウェーデン研究の不足ということで容易に見過すこともできるが、少くとも立川氏は京大教授であり、学者としての立場からこの論文を書いているのであり、決して単なる宣伝文章ではないのである。それ故、学術的評価としてこのような表現ができたのであるとの解釈にたって論をすすめたい。

立川氏（あるいは川本氏）は、論文の前半においては、まことに常識的なスウェーデンの歴史をふりかえっているのであるが、最後に「スウェーデンの重武装中立——その反共的性格——」という一項をもうけ、論文として全くつながりのない飛躍的、独善的な論を展開する。

まず「スウェーデン社会民主党は、国内的な『福祉国家』政策と対外的な中立政策をもって、スウェーデン人民の社会主義的要求を眠り込ませ『階級平和』、『西欧民主主義』、のキャンペーンによって帝国主義の世界侵略に眼をつむり、アジア・アフリカ・ラテンアメリカの人民を間接的に収奪し、真の世界平和の到来を遅らせていることを、見落してはなるまい」と述べる。立川氏は、スウェーデンが国連を重視し、後進国の援助と開発に多くの努力をし、世界平和の実現をめざしていることには全く無知なのである。

更に、続けて「軍事的中立のポーズの下で、スウェーデンの資本主義体制を擁護し、帝国主義の世界体制の利益に狂奔しているスウェーデンの労働貴族は、ソ連の大国主義的偏向を巧みにとらえ、国民を近視的な民族利己主義にうまく動員し、資本家階級の余命を保障しているといつてよい」と。余程のヘソまがりでもこれだけひねくれてはなかなか解釈できるものではない。スウェーデンは、1920年から現在のような完全な民主主義体制をとっている国であり、高度に発達した民主主義の結果として政権の座にあるのが社民党政府であることを忘れてはいけぬ。

スウェーデン社民党は、30余年に亘って政権を握る改良主義的な社会主義政党であるが、立川氏の近視的な眼にはこれが「帝国主義の世界体制の利益に狂奔している労働貴族」と映るのであるからまことに驚かざるを得

ない。おそらく、スウェーデン社民党が革命政党でないことに、憤懣やるかたないのであろう。

更に引用を続けてみよう。「社会民主党は全体主義に反対するという口実の下に、生産手段の社会化、プロレタリアートによる独裁と否定し、『独占に対する国家企業の競争』だとか、『協同組合による独占価格の統制』だとかいった念入りに遠まわりな資本主義擁護策に躍起となっている。この点で国民をごまかす為に、スターリンによる個人独裁の歪みとあやまちが一面的に誇張されて大々的に宣伝されており、根強い『反共主義』を制度的に固めている。その結果、例えばルーマニア、チェコスロバキアの如く、社会主義のための民主主義を労働者、農民、勤労市民に依拠して推進することは社会民主党にとって到底考えられないものになってしまう」と。

いうまでもないことであるが、川本氏の結論は一つなのであって、つまり、共産主義でないものはすべてこれ「国民をごまかす為」のものであるというわけである。スウェーデンにおける協同組合の発達も、混合経済も、共産主義でない故に、これらはまさに国民を欺瞞するものであるというわけであろう。スウェーデンのような福祉国家政策をとる国が、著者のような狂信的な共産主義の信奉者にとって、これ程腹立たしいものであったとは、全く新しい教訓的な発見であった。

川本氏は更に次の如く続ける。「世界第四位の空軍、国家予算の17%にのぼる軍事費、54年以来一貫した核武装化の動きなどに見られる重武装政策が、それが過去150年間中立を保持した理由だという口実の下に強く押しすすめられ、実際にはその軍事力は基地も大砲もソ連に対して向けられている」と。

まず「54年以来一貫した核武装化の動き」とは一体何を根拠にこんなことをいっているのだろうか。確かに、スウェーデンには核兵器所有をめぐる論争はある。しかし、社民党政府は一貫して核兵器所有をしないことを言明しており、ジュネーブ軍縮会議等で最も熱心なのはスウェーデンであることを忘れてはならない。

またソ連に対して大砲なんか向けたところでどく筈はないが、ヨーロッパにおけるロシア（ソ連）の脅威はスウェーデンや西ヨーロッパ諸国だけでなく、チェコ事件にみられる如く、東欧諸国も強く感じているのである。それよりもスウェーデンが中立を保ち、その義務を遂行するために重武装をしている涙ぐましき努力を高く評価しなければなるまい。

一部の知識人に、スウェーデンの中立政策がこのような眼をもってみられていることは大変残念なことである。

スウェーデン短信

Brief notes of Sweden

1970年の輸出入

Import & Export in 1970

1970年のスウェーデンの輸出は19%上昇して350億8,400万クローナ(2兆4,558億8,000万円)に達した。このうちEFTA諸国への輸出は24%上昇して156億3,500万クローナ(1兆944億5,000万円)、EEC諸国への輸出は18%上昇して122億9,200万クローナ(8,604億4,000万円)であった。

一方輸入は19%上昇して263億2,900万クローナ(2兆5,430億3,000万円)に達したが、このうちEFTA諸国からの輸入は20%上昇して136億9,700万クローナ(9,587億9,000万円)、EECからの輸入は18%上昇して122億9,200万クローナ(8,604億4,000万円)であった。

1970年スウェーデンの主要貿易相手国(%)

輸出		輸入	
英国	12.5	西ドイツ	18.9
西ドイツ	11.7	イギリス	13.8
ノールウェー	10.8	アメリカ	8.7
デンマーク	9.8	デンマーク	7.7
フィンランド	6.3	ノールウェー	5.8
米国	6.0	フィンランド	5.1
フランス	5.0	オランダ	4.5
オランダ	4.5	フランス	4.1
イタリー	3.2	ベルギー	3.4
ベルギー	3.1	イタリー	3.0

開発途上国に対する特惠関税案

Proposed tariff privileges for developing countries.

4月末スウェーデン政府は開発途上国に対し特惠関税を認める法案を提出した。

この提案によれば、開発途上国からの工業生産品のほとんどのものは無税でスウェーデンに輸入される。さらにまた、野菜および果物、ココアの半製品、魚類のカン詰、スープ、ジュース類といった多くの食料にも、同じ規則が適用されることになるものとみられる。

スウェーデンの開発途上国からのこうした食料品の輸入高は、1969年には3,300万クローナ(23億1,000万円)に達している。原料については、コーヒーの場合を除き、関税はない。ヨーロッパ地域以外の諸国からのスウェーデンの全輸入量の約1割のものは関税の対象となる。1969年には、そうした輸入品の総額は2億6,500万クローナ(185億5,000万円)であった。このうちには、現在関税なしとなった約1億1,000万クローナ(77億円)相当のものが含まれている、と商務省は述べている。

コンピューターで車輻買換の経済時点

Computer tells when to exchange the car.

スウェーデン国立通信管理局は、その所有する貨物車、

バン、自動車群と新車と交換するのに、経済的にみて最適な時点を決めるのにコンピューターを使用している。

この管理局が現在所有している自動車は約7,800台、その総購入価格は1億3,000万クローナ(91億円)。それぞれの車輻は毎年15,000キロ程度走行し、その走行コストは10キロ当たり5クローナ(350円)になる。自動車全体の年間走行キロ数は約1億キロメートル、1,700万リットルの燃料を消費する。両輻のうち約12%が毎年新車と交換される。

燃料消費量、オイルの交換、修理費などの基本データが毎月一回コンピューターに入れられる。コンピューターは四半期ごとに「利益性レポート」を提出し、それを越えると不経済になる修理コストの上限を示す。同時にまた、個々の車輻の輸送手段としての残存寿命についても報告する。交換の時期にきた古い車輻については、コンピューターは交換すべき理由を明示した一定のフォームを打ち出す。

個人別の自由時間勤務の実験

Experiments with individually flexible working hours.

一定の限度内で労働者が自分の働きたい時間を選択できるという、いわゆる「個人別労働」の概念が、現在スウェーデンの使用者と労働組合の間で論議されている。この分野における先駆者の一人、ストックホルムのLMエリクソン電話会社は目下、1970年4月~10月にわたって行なった実験の成果についての評価を行なっている。

この新しいシステムによれば、労働日の主要な時間は固定されているが、仕事の開始および終了時刻は融通性がある。だから、各労働者は自由に仕事を開始し、早く終了しても、その逆を行ってもよく、さらには10~15時間以内ならば労働時間を加算して「借り」たり「貸し」たりもできる。たとえば、仕事が多い時には労働時間を伸ばし、不況時には短縮することができる。

この新方式の結果、超過勤務が減少する傾向となり、労働時間の使い方がより合理的となり、1日の病気による休みは明らかに減少している、とエリクソン社のはべている。女子労働者で小さい子供をもっているものは、子供と過す時間が長くなり、一般の労働者は、これまでより仕事を楽しく感じており、自分の時間をこれまでよりも効果的に使用している。

この個人別労働時間制がもつもう一つの利点は、労働者がより自由を感じ、緊張感が従来より柔らぐということである。さらに、渋滞した交通事情や混雑した交通機関の中で過ぎねばならない時間も、これまでより減っている。

エリクソン社の言うところによれば、タイムレコーダーを備えたすべての会社は、この個人労働時間システムを導入するのに必要な基本的装置を有している、といえる。OCR(光学的文字識別機)のタイムカードを使用すれば、印字または手書きたるを問わず、関連のあるインフォメーションの評価を行なうことができる光学的リーダーを利用して、データの処理をすることができる。

スウェーデンのサリドマイド和解

Compromise reached in Thalidomide Case in Sweden.

1969年の秋、スウェーデンのサリドマイド訴訟は長年にわたる公判の末、サリドマイド傷害児の両親とスウェーデン最大の医薬品コンツェルンであるアストラ社（AB Astra）との間で、裁判外の和解に到達した。

サリドマイドは1956年頃より鎮静剤として、西ドイツのグリュネンタール社より製造・販売されていた。世界各地の製薬会社は、グリュネンタール社よりライセンスを受けて製造・販売に当たり、スウェーデンではアストラ社が「ノイロセディン」などの商標名で、スウェーデン、デンマーク、ノルウェーの各国において販売を行なった。この薬品がごく限られた状況下で胎児に傷害をひきおこすかもしれない、ということが明らかになったのは、1961年の終りに近くなってからで、それまでは、そんな疑いはまったくもたれていなかった。

母親が妊娠中サリドマイドを服用したため子供に傷害が現われたとして、100人の子供の両親が、4人の弁護士を代理人としてセーデルテリェの裁判所に、アストラ社に対して損害賠償の訴訟を起し、裁判は4年以上にわたって行なわれた。その費用は莫大なものになり、訴訟が終結するまでにはさらに多くの支出が予想されたいえ、終局判決は少なくとも数年間期待できそうもなかった。このような事情のもとで、仮に会社に責任がないとしても、会社はなお訴訟費用に幾百万を注ぎ込まねばならない見通しとなり、それならばその費用をそのまますぐに、治療や訓練を必要としている子供達の補償のために使うのがいいのではないか、との考え方が提出されるようになった。そして両当事者は、アストラ側が作った約定に合意して和解に至ったのである。

社会保障制度が完備したスウェーデンでは、その適用が100%受けられることはもちろんである。それを前提条件として、アストラ社は一人平均6,000クローナ（約42万円）の年金を、その子の一生の間支払い続けることになった。もっとも各自が受取る金額は、傷害の程度によって異っている。また支払開始は1968年1月1日に遡及し、翌70年分を含めた3ヶ年分が1969年12月に支払われた。この年金はインフレの影響を受けないように、公式物価指数によってスライドされる。

この和解によって、アストラ社に対する全ての民事裁判はとり下げられた。あとで新たにみつかった傷害児はこの約定の当事者の一人に加わる事ができる。

和解契約書には、アストラ社がサリドマイドの試験と販売をしたことについてなんらの非難も受けない、と定められている。サリドマイドと胎児傷害との関連性を科学的に証明することは、ついにできなかったが、実際の統計数字が示すところによれば、両者の間に関連がありそうだと思うることについては、会社側も認めている。しかし、それは誰の過失でも責任でもなく、不可避

的な科学自体の問題だという考えにたっている。したがって会社は、何ら法的責任はないが、純粋に人道的見地から、サリドマイドによって傷害を受けたと思われる子供達に経済的援助を与えたいとしている。

サリドマイドによって起こされた惨事に対する責任の所在について、アストラ社の社長ヴェーゲルフェルト氏は、「個々の人間でもなく、企業でもなく、監督官庁でもない。惨事が起こりえたということは、まず第一に科学の不足に基づいている。これは誰の責任に帰することもできないということについては、今日、すべての人が一致している」と述べている。

非常に広範囲な医学上の研究調査が、ヤン・ウィンベリー博士（Dr. Jan Winberg）に対して両当事者から依頼されていた。彼の研究調査の結果は双方の当事者から受け入れられている。それによると、サリドマイドと関係があると推定される傷害と同じものが、薬剤が使用される以前にも存在したという確認を含んでいる。たとえより僅かな頻度であるとしても、そうした傷害（奇形）は今日もなお生じつつあるわけである。サリドマイド傷害で訴訟を起こした100人の子供のうち、20~30人の子供は自然発症例のものとして推定された。しかし、どの子供が自然発症例か判別できなかったため、アストラ社は寛大にこれらの子供を含む100人全員を和解の対象としたのであった。

これによってアストラ社は年60万クローナ（約4,200万円）の年金を支払いつづけ、総経費2,500~3,000万クローナ（17億5千万~21億円）を生ずることになった。1969年のアストラ社の年次報告はつぎのようにのべている。「和解の事実によって、アストラ社はかなりの支払い義務を負うこととなったが、重役会は、この支出が、会社の将来の発展の妨げとはならないと考えている。訴訟を長びかせることによって、技術部門および管理部門に非常な負担を負わせ、企業にマイナスの影響を与えることが避けられるのである。」

アトラス社は同年5月、ノルウェーの14名の被害者との間にも和解を成立させた。一部分を子供の年金に、一部分を教育や特殊設備、さらには技術補助具、その他これらと同種のものに費用に充てるため、毎年10万クローナ（約700万円）を基金に組み入れることに同意している。

傷害児のうち何人かは、アストラ社がさきに設立したサリドマイド基金から、後日額が決定したときに差引くとの約束のもので3,000クローナを受けとっていた者もあった。しかしこの合意によって返済の義務はなくなり、まだ受けとっていなかった子供達に対しては、3,000クローナが追加して支払われた。

新税制の勤労者所得税

Workers' income tax in new tax system.

1971年1月1日から、一連のパルメ政権の平等化政策に基づき新しい税制度が実施された。その主要なねらいは、昨年の低所得調査委員会のホルムベリ報告で明らかにされたような低所得労働者に対する税負担を軽減し、高所得者への課税率を大きくして生活水準の相対的平等化をはかることと、夫婦が共稼ぎの場合はこれまで合計額に課税が行なわれていたのを、分離課税制の採用により女性の独立と平等をさらに前進させることであった。

この改正によって4～4.5万クローナ級に至るまでの所得に対して、直接税の負担が軽減されたが、そのための歳入ロス46億クローナ(約3,220億円)は、付加価値税を10%から15%へと引き上げ、利益税と相続税の上位の率を上げることで埋め合わせられる。

第1表は新しい累進税率である。これによると、例えば課税所得30,000クローナの人は、最初の15,000クローナの部分に対して10%、つぎの5,000クローナの部分に対して16%、残りの10,000クローナの部分に対して22%がそれぞれ課税徴収されることになる。所得税には国税と地方税とがあり、この累進税率は国税に対してのみ適用される。

第1表 累進税率

課税所得 (単位クローナ)	税率%
はじめの 15,000 (— 15,000)	10
つぎの 5,000 (15,000— 20,000)	16
10,000 (20,000— 30,000)	22
22,500 (30,000— 52,500)	28
17,500 (52,500— 70,000)	38
30,000 (70,000—100,000)	44
50,000 (100,000—150,000)	49
それ以上 150,000 (150,000—)	54

第2表 個別の納税額 (単位クローナ)

総所得	国所得税	地 方 所得税	基礎年 金掛金	税負担合計	
				金額	% (改正前)
6,000	119	268	59	446	7.4(14.4)
10,000	502	1,129	251	1,882	18.8(22.2)
15,000	995	2,239	497	3,731	24.9(28.3)
20,000	1,491	3,355	745	5,591	28.0(32.4)
30,000	3,363	5,587	1,241	10,191	34.0(37.9)
50,000	9,714	10,939	1,500	22,153	44.3(44.7)
100,000	30,324	22,333	1,500	54,157	54.2(52.7)

控除は、その所得を得るのに要した費用について認められる。標準控除にはいろいろのものがあるが、その一つに、4,500クローナの基礎控除がある。

第2表は、個々の労働者に課される所得別の税の内訳を示したものである。従来、独身労働者は既婚労働者より税が重く、異った税率が適用されてきたが、新しい制度では共にこの表が計算の基礎とされる。子供のない共稼ぎの夫婦の場合、二人の所得は別々にこの表の適用を受けることになる。これまでも妻の所得が大きくなると、分離課税を申告して多少有利な扱いを受けることはできたが、それでも妻の税率は夫の所得と関連させて高率で課されるため、多くの場合妻を働くことから遠ざけていた。これに対して新しい制度では、個別にそれぞれの所得に対してこの表を適用するので、共稼ぎが有利になった。

税負担の合計額が、改正前に比べて30,000クローネ以下の所得では4%前後軽減されている。相対的に国税が以前よりも軽くなり、逆に地方税が重くなっている。

第3表は、子供のない既婚者で、夫婦の片方だけが働いている場合の税負担を表わしたものである。これは第2表の個別税額から、配偶者税控除を差引いたものであることがわかる。これによって10,000クローナ以下では税負担が0となり、他は一律1,800クローナの税控除が受けられることを示している。

第3表 子供のない既婚納税者 (単位クローナ)
(一人だけが所得を得ているとき)

総所得	個 別 納税額	配偶者 税控除	税負担合計	
			金額	% (改正前)
6,000	446	446	—	—(3.5)
10,000	1,882	1,800	82	0.8(10.9)
15,000	3,731	1,800	1,931	12.9(18.3)
20,000	5,591	1,800	3,791	19.0(22.4)
30,000	10,191	1,800	8,391	28.0(28.5)
50,000	22,153	1,800	20,353	40.7(37.2)
100,000	54,157	1,800	52,357	52.4(48.5)

この場合にも改正前と比べて、30,000クローナを境として以下の税負担が軽くなり、それ以上の負担が重くな



Antenna

本誌の今年2月号のこの欄で、八幡一範氏がこの研究所のあり方の基本問題に触れて、「……大事なことは、スウェーデン研究の学問的成果が、われわれの社会の改革に具体的に作用するためにはどうしたらいいかということである。たしかに、研究所という立場にはおのずと限界もある。しかし、これこそいっそう慎重に考慮すべき研究所存立の基本的命題なのである。」ときわめて示唆多き提言をされた。

まことにこれは大事な基本問題であるので、私も一片の文章によって私の解答をここに書こうなどと安易な取組み方はしない。そしてこの問題は研究所関係の誰もが考えているに違いないことでもあり、多くの方々から、たとえ断片的でもよいから種々の視点からの提言がなされるのが望ましい。

手近なところで、この「月報」の編集方針、論文やニュースの載せ方などを論議するとき、結局帰着するのは上記の基本問題なのである。

ひと昔前の「近代」にあっては、生産の諸要素のうち「資本」が主力であったので、資本にリードされる

産業界と、「真実」探求の学界とは一応、分離を原則とし、それぞれの個別的充実がまた相互の役に立つ結果ともなったので、そのあり方は比較的単純であったともいえる。

ところが今日をも含めて「現代」になると、上記の「資本」の王座にとって代りつつあるものは「技術・知識・情報」となり、「知識産業時代」の展開となった。

ここにおいて、一方では産業界が学界に手を差し伸べるのみならず、会社自らがカレッジでもあるかのような脱皮現象を展開しはじめ、他方では、学界がその求めた社会的価値を、脱皮企業の体を通して社会的に実現してゆくという傾向の展開ともなった。そこで「知識・情報産業時代」の屋根の下で、産業界と学界とが融合の機運にあるのが「現代」なのであるが、それゆえにこそ、それぞれの要素の調合のさじ加減を司る座の人びと、ないしはその組織の社会的責任は大きいし、またそれらの人びと、ないしは組織は、多様化する価値の潮流の中で、選択・創造のセンスとパーソナリティとをたえず研磨・形成していかなければならないであろう。 理事 高須 裕 三

っている。以前は配偶者税控除が所得によって異り、所得が大きいほど税控除額も大きかった。標準所得の場合についてみると、現行の一律最大1,800クローナは以前に比べて約50%税控除が少なくなっている。また、約2,300クローナ認められていた所得に対する配偶者扶養控除もなくなり、税負担の上から妻が働いていない場合、かなり不利になった。このため、家庭の主婦たちから税制改革に対して抗議の声が起こった。この改革は働く主婦を優遇して家庭から労働市場へかり出すもので、ますます重要度を増しつつある家庭の環境や機能を破壊するものだといっているのである。これに対して政府は、今度の改正が、婦人の独立と平等の達成をひとつのねらいとするもので、時代の方向に沿ったものだとして説明して説得に当たった。そしてさらに、婦人の参政権、教育の機会均等、労働市場での男女差の徹底など、婦人の独立運動はつねに家庭に対する脅威として描かれる傾向があった、と反論している。

第4表は、結婚して2人の子供がある場合で、夫婦のうち一人だけが収入を得ている場合である。1948年に児童手当法が制定されてから、16才以下の子供に対し一律の児童手当が支給される代りに、子供のためのいわゆる

扶養控除はなくなった。この改正で児童手当の額は一人当たり600クローナから1,200クローナへと増額された。

この場合にもやはり30,000クローナ以下の所得に対する税負担が軽減され、それ以上が重くなっている。

16才以下の子供のある家庭では、両親が有利に働けるように最高2,000クローナの控除が認められる。また、長く病気が続いたり、家族に重い負担がある場合などには、最高6,000クローナの追加控除を申告することもできる。

第4表 二人子供がある既婚納税者（単位クローナ）
（一人だけが所得を得ているとき）

総収入	税額	支給される児童手当	税負担合計	
			金額	% (改正前)
6,000	—	2,400	-2,400	-40.0 (-26.5)
10,000	82	2,400	-2,318	-23.2 (-7.1)
15,000	1,931	2,400	-469	-3.1 (6.3)
20,000	3,791	2,400	1,391	7.0 (13.4)
30,000	8,391	2,400	5,991	20.0 (22.5)
50,000	20,353	2,400	17,953	35.9 (33.6)
100,000	52,357	2,400	49,957	50.0 (46.7)

(税負担合計の(—)符号は、逆に税が払い戻されることを意味する。)

(八幡一範)

【近刊予告】 B6版 約280頁 写真 80葉 定価 780円

スウェーデン社会研究所編

スウェーデン

—自由と福祉の国—

こんにちの日本にとって、福祉の国スウェーデンが示唆するものは何か。経済、社会、政治の諸側面をの15テーマについて平易に展開し、福祉国家スウェーデンの構造を明らかにするとともに、明日に残された課題をも考える。

第一部 経済生長と福祉、 第二部 教育と創造的人生的追求、 第三部 人類の平和と理想を求めて

芸林書房 東京都文京区水道2-12-2 電話東京(945)1731

【活動メモ】 Activities

◆研究会活動 Study Meetings

- 5・15 民主主義発達史研究会 A History of Sweden 第20章 発表者 石渡利康氏(東海大学講師)
- 5・22 老人問題研究会「スウェーデンと日本との老人問題の比較」 発表者 菊池幸子氏(立正女子大学教授)

◆日瑞往来 Persons to and from Sweden

- 5・9 クリスティーナ王女がご来日、「国王所蔵中国古美術展」開会式ご出席のあと、京都、伊勢などを廻って14日ご帰国になった。
- 5・17 アルネ・ベルグランド氏(日瑞基金提唱者)が来日、基金運営上の諸問題を討議して27日帰国した。
- 6・16 蕨岡小太郎氏(医学博士、癌研究所)は、癌の研究のため約6ヶ月間、カロリンスカ研究所などへ研究留学する。
- 7・14 中嶋博氏(早稲田大学教授)は、スウェーデンを中心とするスカンジナビア諸国の教育の実情視察のため、二ヶ月間渡欧する。
- 8・10 菊池幸子氏(立正女子大学教授)は、福祉政策などを研究のため、およそ一年間ストックホルムのインターナショナル・グラジュエイト・スクールに留学する。

◆日瑞基金会員総会・理事会合同会議

Joint meeting of the board of directors & the general assembly of the Japan-Sweden Foundation held

昨年10月27日に設立された日瑞基金(会長 土光敏夫氏)は、その後会員の募集や研究員派遣のための各種規程案などが整ってきたので、去る5月28日、経団連会館において、理事会ならびに会員総会を開催した。

総会は土光会長が議長で進められ、専務理事に西村光夫氏(スウェーデン社会研究所長)、派遣研究員選考、受入委員会委員長に岡村誠三氏(工学博士、京都大学教授)を決めたほか、各種規程、71年度事業計画および予算案などを可決した。この結果、8月には71年度の派遣研究員2名の選考ならびに派遣を完了するほか、スウェーデンからの研究員受け入れ、各種資料の収集・発行などの活動が開始される。(詳報次号)

◆万国博スカンジナビア館記念館の起工式

A cornerstone laying ceremony of the Scandinavian Memorial Hall, former Scandinavian Pavilion at Osaka. Expo

1970年の大阪万国博の統一テーマ「人類の進歩と調和」のもとに、「産業化社会における環境の保護」を訴えつけて注目を集めたスカンジナビア館が、北海道観光開発審議会に対して寄贈され、記念館として、札幌郊外に移設されることになった。その譲渡および利用に関して、この一月、同審議会副委員長大町北造氏が渡欧、交渉に当たっていたが、このほどその構想がまとまり、去る5月19日、建設予定地で起工式が行なわれた。この工事の責任に当たっているのは、札幌市南大通り西五丁目、内外緑地株式会社社長の松坂有祐氏。

◆会員のスウェーデンに関する最近の論文

Recent papers & treatises written by members of the Institute.

山田雄三 「ミュルダールのスウェーデン擁護論」
社会保険旬報 46年4月1日号

◆スウェーデン語講習会

The Swedish Language Classes

本年度第3回(通算第15回)スウェーデン語講習会は、早くも第1日目で満員締切りとなり、5月24日から開講した。受講者数は初級54名、中級21名、上級13名、今回までの初級受講者総数は584名となった。

この講習会は各期とも8週間、週2回。80分単位で授業が行なわれ、初級を終了すると中級、さらに上級へと進級できる。また、上級終了者のための講座なども適時開かれている。

解読と文法を日本人の石渡講師が、発音と会話をスウェーデン人の Cecilia Utterstrom 講師が担当し、初中上級の全体でスウェーデン語の基礎的な知識と日常会話を一通り習得できるようにすすめられている。各クラス最終日に簡単なテストがあり、出席時数を考慮して受講証が発行される。受講証をもらった人は、渡欧の際必要に応じて証明書の発行を受けることができる。

次回は10月初旬に開講の予定。受講料は8週間で各クラスとも5,000円。他に教科書代が1,400円かかる。予め申し込んでおけば、開講前に葉書で連絡がある。